

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
令和7年度 第5回理事会 議事録

開催日時：令和7年10月25日（木）18時15分～19時40分

開催場所：久美愛厚生病院検査科 Web 併用（Zoom）

出席者：岡村、山口、乾、澤野、森本、市川、渡邊、荻谷、上野、建部、中島、
高橋、森（栄）、森（幸）、倉家、帖佐、服部、日比

欠席者：中尾、小西、酒井、林、安藤、前田、菊地

議長：岡村（会長）

議事録：日比（庶務部長）

報告事項および議題

1. 関係各所からの報告【日臨技・県・厚労省・その他】〔岡村会長〕：資料配布済み
以下の資料内容について確認をお願いし、一部内容に補足説明を行った。

【第4回常務理事会報告資料】

- ① 県医師会より、岐阜県糖尿病対策推進協議会総会開催について
- ② 日臨技より、2026年度都道府県精度管理調査に使用する都道府県用精度管理調査試料（臨床化学）の申込について
- ③ 日臨技より、会費の送金等の資料について
- ④ 日臨技より、令和7年分の所得税の確定申告及び事業者のデジタル化促進に関する周知のお願い
- ⑤ 日臨技より、デジタル会員証アプリの運用開始について、日臨技メールにて配信されましたがダウンロードの周知をお願いします。
- ⑥ 日臨技より、（理事会資料）都道府県技師会における災害時支援の協力人材の整備状況
- ⑦ 日臨技より、「職場のハラスメント撲滅月間」の周知について
- ⑧ 定款改定案について（以下8.に詳細明記）
- ⑨ 第63回中部圏支部医学検査学会視察について
- ⑩ 令和8・9年度日臨技会長候補者の長沢先生より
- ⑪ 中部圏支部幹事会の議事録について
- ⑫ 学術部報告について
- ⑬ 令和7年度 岐阜県臨床検査技師会 月別決算表10月までの報告
- ⑭ 日臨技中部圏域支部一般検査部門アンケート調査依頼（施設の医師対象）について（以下11.に関連明記）

【第5回理事会追加資料】

- ① 日臨技より、「施設実態調査」並びに「会員意識調査」実施への協力について
- ② 日臨技より、会費の送金等の資料について
- ③ 堀場製作所より、血液 web セミナーの案内
- ④ 日臨技より、災害対策支援規程および災害対策支援マニュアルの改定について

- ⑤ 日臨技より、令和 8 年度都道府県技師会との関連事業（予定）について
- ⑥ 岐阜県健康福祉部より、（保健衛生分野）における叙勲及び褒章潜在者に関する調査について
- ⑦ 子宮頸がんを考える市民の会より、寄附趣意書について 3 万円（一口）寄付の要請に対し、過去の実績もないことから反対多数で否決された。
- ⑧ 総括集見積もり
- ⑨ 検査と健康展の報告

2. 中部圏支部医学検査学会（準備状況）について〔山口副会長〕（資料）

三重学会へ視察団 11 名参加。

企業、学生、スタッフ込みとして 1,200 名程度の参加内、参加費を支払っての参加者は 800 名程度、詳細は判断できていない。

岐阜県でも独自の企画が必要かもしれない。

スイーツセミナーの試みは良かった。岐阜県でも採用したい。

1 月には予算書と企画書を日臨技へ提出する。

3. タスクシフト状況〔岡村会長〕

2026.2.8（日）岐阜医療科学大学（11/8 受付開始、11/20 定数となり受付終了）

県外からの申し込みとして三重県 1、富山県 1、愛知 2 名。

残り県内の受講予定者は 11 名であり、県内開催は 2/8 で終了かと思われる。

4. 今後の拡大研修会のあり方について〔岡村会長〕（常務理事会報告事項）

*12 月の部門長会議報告（拡大研修会について）〔森本部長〕

【背景】

- ・現行は 2 部門の組み合わせを順番に決めてテーマを学術で決定している
- ・近年、開催意義についての疑問がささやかれている
- ・12/9 部門長会議で拡大研修会の今後の在り方について議論

【意見】

- ・何のために開催するのか
- ・部門の組み合わせで共通のテーマが難しい場合がある
- ・市民公開講座の意義
- ・市民公開講座で会員が帰る
- ・担当地区理事以外の理事の出席が少ない
- ・担当地区の会員の出席が少ない（地区にもよる）
- ・目的があいまいで、順番が来たからやっているだけ
- ・今年度の市民公開講座（音楽）はよかった

【要望】

- ・地区がテーマを決めて研修会全体を企画することを要望
- ・学術部は、地区から要望のある関連部門は協力を惜しまない（連続にならないように調整）
- ＊以上の内容に関して、次回の常務理事会での継続審議とする。

5. 国民医療を守るための総決起大会への参加依頼について（医師会） [岡村会長]

技師会より 5 人程度の参加者を要請された。

11 月 20 日（木）14：00～15：00

岐阜県医師会 1 階大会議室（サテライト会場）

現地参加：澤野組織調査部長、Web 参加山口、酒井両副会長

6. 糖尿病対策推進協議会総会について [岡村会長]

12 月 6 日（土）14：00～16：00

Web 参加：市川広報宣伝部長

7. 日本臨床一般検査学会合同開催の公開講演について [岡村会長]

10 月 26 日（日）13：00～16：00 ギフメディアコスモスみんなのホール

岡村会長、山口副会長、他スタッフとして 3 名参加

来場者は 60 名以上と例年より多かったとの意見。

8. 定款の見直しについて（案①から⑤） [岡村会長]

岡村会長から定款・規則の見直しの提案があった。

- ① 会長の選任方法を信任投票（選挙）と理事会互選の 2 段階にしたい
 毎回会長の人選に苦慮している。理事会互選ではまず地区理事に選出してもらうことが必要だが各地区の事情がある。このことが人選を難しくする要因の一つと考えられる。そこで地区理事と関係なく人選できるように信任投票も導入したい。立候補者を選定できない場合を考え理事会互選との 2 段階構えとしたい。
- ② 日臨技理事を岐臨技理事兼務としたい
 岐阜県担当日臨技理事を岐阜県臨床検査技師会会長が兼務しない場合には日臨技とのパイプ役として地区理事とは別に岐臨技理事として招聘
- ③ 会議の進行について議長を会長から副会長へ変更したい→会長が議長だと会議が白熱した場合に収集が付かないので（一般的には会議の進行は 2 番手）
- ④ 代表地区担当理事選定→会長が地区代表を兼ねると業務量が多くなりすぎる。また、代表が決まっていないと意見が出にくい
- ⑤ 一部、現状に即していない部分の変更
 情報宣伝部の業務内容にホームページの管理を追加

上記①～⑤に対し今後細部の見直しの必要性があるかもしれないが概ね賛同した。

第4回常務理事会での意見として、以下が挙げられた。

- ・部長一人だけの部があり、業務の負担や後継者問題なども解消したい。
無役の地区理事に対して、部員として各部専属となっただくのはどうか？
地区理事以外の部員も必要
- ・地区区分や定数についても再考すべきではないか？
- ・規則の宿泊費について、今年2月にインバウンドの影響を鑑み上限の10,000円から「良識の範囲内」と曖昧な表現としたが、「日臨技に準ずる」と変更する。
- ・定款には理事・地区理事も文言があるが具体的な説明がないことも是正したほうが良いのではないか。
- ・個人情報の取り扱いについての記載が必要では。

*その他意見も踏まえ、定款・規則の見直しを再考することになった。常務理事会で素案を作成し2月の理事会での採決予定とした。

9. 令和8.9年度岐阜県臨床検査技師会役員について〔岡村会長〕

令和8年6月に現役員の任期満了となることに伴い、次期役員候補の選定に入ることになった。

【交代予定の役員候補】

会長：森本現学術部長（岡村現会長推薦）

庶務部長：地区理事からの選任役員ではあるが候補者の選定が必要である。日比庶務部長は3月で定年を迎えることを機に退任希望であるが候補者の選定は出来ていないため、常務理事会として候補者の選定を急ぐ。

会計部長：上記同様ではあるが地理的理由で岐阜地区からの選定が必要。とりあえず乾会計部長に候補者を探していただく。

組織調査部長：8年間継続している。交代を希望するが後継者の選定が出来ない。

広報宣伝部長：8年間継続している。同一の役職は3期6年までとなっているが後継が見つからず交代できない。個人的には引継ぎ期間としてあと1期継続しても良いが後継者をどうにかできないだろうか。

学術部長：後任選定は森本学術部長に依頼

【継続予定の役員候補】

渡邊精度管理事業部長、荻谷渉外部長

10. 日臨技報告〔代理：岡村会長〕

配布資料の確認を

11. 愛知県技師会からのアンケート調査依頼について〔岡村会長〕

医師宛てのアンケート調査依頼、中部圏域支部としての依頼、各施設ご協力ください。

各事業部からの報告

【学術部】[森本部長]

1. 研修会終了報告

- ・第2回一般検査部門研修会：11月16日、WEB開催、内容は精度管理、定員150名、70名参加、参加費無料、（予算）11,000円（岐臨技負担：11,000円）
- ・第3回生理部門研修会：11月29日、WEB開催、内容は神経生理、定員100名、33名参加、参加費無料、（予算）15,900円（岐臨技負担：16,123円）
- ・第4回病理・細胞部門研修会：11月30日、現地開催、内容は細胞検査士2次試験対策、定員9名、16名参加、参加費無料、（予算）4,080円（岐臨技負担：2,128円）
- ・第2回生物化学分析部門研修会：12月20日、現地開催、内容は実技、定員24名、16名参加、参加費無料、（予算）20,900円（岐臨技負担：15,700円）

2. 行事承認の件について

- ・一般検査部門研修会：
3月1日（日）、岐阜大学医学部にて開催、定員20名
内容は、体腔液検査の基本 ～講義&実習～
参加費：2,000円、予算40,000円（講師等）（岐臨技負担：0円）、助成金申請なし
- ・生理部門研修会：
2月1日（日）、LIVE配信（Zoomミーティング）、定員100名
内容は、令和7年度岐臨技精度管理 臨床生理部門問題解説
参加費無料、予算28,500円（講師等）（岐臨技負担：28,500円）、助成金申請なし
- ・生物化学分析部門研修会：
2月7日（土）、LIVE配信（Zoomミーティング）、定員80名
内容は、令和7年度岐臨技精度管理報告会
参加費無料、予算9,000円（講師等）（岐臨技負担：9,000円）、助成金申請なし

* 以上の内容について、全員賛成で承認された。

3. 部門員交代についての提言

人員確保に関する提案

【背景】

- ・交代要員が見つからない

【提案】

- ・生理部門より提案書提出
- ・他部門、常務理事においても同様の状況であり後回しにできない。

【会計部】〔乾部長〕

月別決算報告（11月）（主たる内容）

<11月>

・経常収益；合計 516,161 円

入会金：1,000 円、正会員費：14,000 円、精度管理参加費：257,500 円、研修会等参加費：38,900 円、広告料：106,000 円、学会研修会助成金：50,000 円

・経常費用；合計 1,019,983 円

日当（事業費）：183,000 円、旅費交通費（事業費）：68,260 円、食卓費：103,314 円、配送料：80,487 円、消耗品費：5,931 円、印刷費：51,801 円、機器リース料：11,220 円、謝礼金：2,571 円、会場費：77,930 円、
日当（管理費）：11,000 円

* 以上の内容について、全員賛成で承認された。

【広報宣伝部】〔市川部長〕

- ・岐阜の中部圏学会の PV がホームページに掲載されている。
- ・バナー広告について、〆切は 12 月中であるが現在 4 社（内ミズホメディィー新規）の申し込みがあり、出来ればあと 1 社確保したい。
- ・1 月に新年の広報誌の発行を考えている。内容は、会長新年挨拶、中部県学会視察について、拡大研修会、検査と健康展についてであり、各々お願いしたい。

【精度管理事業部】〔渡邊部長〕

- ・来年度精度管理用試料の申し込みを提出。医師会 60 セット、技師会 40 セット、二次サーベイ用 10 セットとして 110 セット発注する。
- ・報告書の訂正変更あり、再送予定である。
- ・日臨技の報告書は WEB 公開となっており、来年より当技師会も移行を検討中である。
- ・1 月 25 日に精度管理報告会（Web）を予定している。

【渉外部】〔荻谷部長〕

特になし

【組織調査部】〔澤野部長〕

1. 令和 7 年度 検査と健康展の報告について

日時：令和 7 年 12 月 7 日（日） 10 時から 15 時で開催

場所：イオンモール大垣（太陽の広場）

実務委員：42 名（内学生 6 名） メーカー 5 名 臨床検査専門医会医師 2 名

参加者概数：延べ 578 名 パンフレット・リーフレット配布 300 部

【実施内容】

- ・AGE s 測定体験・化学発光を見てみよう 90 名
- ・身近にある生活用品をエコーでみてみよう 70 名
- ・疑似尿による尿定性検査 45 名
- ・ディスカッション顕微鏡で細胞の観察・健康モニタリング装置 ASTRIM を用いたヘモグロビン測定 103 名
- ・体内臓器を細胞まで見てみよう（臓器病理標本観察） 20 名
- ・人間の臓器の位置を知ろう（人体模型パズルで体験） 60 名
- ・認知症チェック（物忘れプログラムを用いた認知症チェック） 70 名
- ・物忘れチェック（ニンテス） 60 名
- ・輸血検査と献血 30 名
- ・遺伝子検査の説明 30 名
- ・健康相談 4 名
- ・岐阜医療科学大学による学校紹介や進路相談
- ・パンフレット、リーフレットの配布
- ・着ぐるみによる集客

【会計報告】

（収入）500,000 円（日臨技助成金）

（支出）379,512 円；主たる内訳：設備・備品費 107,470 円、旅費・宿泊費 249,820 円等
差額分 120,488 円は日臨技に返金

2. イオンモール大垣にて開催される「お仕事体験企画」について

組織調査部としては、事業が縮小されていることもあり、来年この企画に参画する方向で進めていくことになった。

*以上の内容について、全員賛成で承認された。

【庶務部】〔日比部長〕

- ・次年度事業計画書の提出依頼

各地区からの報告

【岐阜地区】

*拡大研修会について

11 月 30 日（日）に、OKB ふれあい会館にて開催された。

参加人数：会員 37 名他、市民公開講座 10 名

メーカー協賛：6 社、ランチョンセミナー：2 社

支出計；339,864 円

収入；参加費：38,000 円、日臨技助成金：48,500 円、岐臨技負担：93,364 円、等

＊「第 43 回ぎふ市民健康まつり」実施報告について

1. 事業内容

日時：2025 年 10 月 19 日（日） 午前 10 時 ～ 午後 2 時 30 分

場所：岐阜市文化センター（岐阜市金町 5 丁目 7 番地 2）

2. 運営委員及びワーキング会議メンバー

運営委員： 乾ゆう（岐阜市衛生試験所）

ワーキング会議メンバー：建部雅彦（岐阜県総合医療センター）

丹羽理代子（岐阜市民病院）

運営スタッフ：計 13 名

3. 出展ブース

①頸動脈エコー検査体験コーナー 1 台

②物忘れ簡易検査体験コーナー 2 台

4. 会議

（1）準備会議：運営・ワーキング会議（保健所事務局主催）3 回

（2）事後会議：運営・ワーキング会議（保健所事務局主催）1 回

5. 来場者数

（1）全体

参加者合計	7521
臨床検査技師会コーナー参加者合計	315

	第 43 回 (2025 年)	第 42 回 (2024 年)	第 41 回 (2023 年)
コーナー数	44	21	47
延べ参加者数	7521	4,126	6,979
スタンプラリーカード配布数			990
スタンプラリー景品引換数			373
景品交換率			38%

（2）臨床検査コーナー

①頸動脈エコー検査体験コーナー：230 人

②物忘れ簡易検査体験コーナー：85 人

6. 実施内容

（1）事前準備

- ・物忘れ相談プログラム機器 2 台は、イベント当日 2 日前に届くように日臨技に依頼した。前日、会場設営時に動作チェックを行った。
- ・消耗品、備品等も前日に搬入した。

- ・会場レイアウトやコンセント配線、パーティションの位置等を当日に備えて準備・確認をした。

(2) 当日について

- ・前日設営により、全スタッフは9時に集合した。
- ・頸動脈エコー機器（富士フィルムヘルスケア社）1台は当日の会場設営時にて搬入し動作チェックを行った。
- ・スタッフ向け駐車場は、近場のパーキングの使用を案内したが、井上精機（株）の本社駐車場も使用できるようにした。
- ・エコー検査担当と物忘れ検査担当に分かれて、スタッフに手順を説明した。
- ・10時からの開会式は乾のみ出席した。10時30分イベント開始、14時30分終了。

(3) イベント終了後

- ・事務局に来場者数を報告した後、片付け（ゴミ回収、消耗備品回収）を行った。
- ・15時頃にエコー機器1台を富士フィルムヘルスケア社が回収した。
- ・物忘れ相談プログラム機器2台は、当日のうちに2台とも日臨技に発送した。
- ・使用した消耗備品を回収し、岐臨技に返却した。

7. 総括

(1) 全体について

- ・今年は岐阜市文化センターでの開催となり会場は広くなった。頸動脈エコー検査機器は1台での運用となった。検査機器の構成は昨年同様であり、スタッフ参加者も昨年と同人数とした。
- ・イベント終了時間が昨年より1時間短縮されたため、臨床検査コーナーの参加者は減少となった。

(2) 検査について

- ・昨年は来場者の検査待ち時間が増えたため、検査予定人数を、頸動脈エコー：5人/30分、物忘れ相談プログラム：5人/30分と設定し、来場者に整理券を配布し予約時間制対応とした。
- ・検査を予約時間制としたため、スタッフは余裕を持って検査に従事出来た。来場者も検査待ちのクレームもなくスムーズに対応できた。

(3) その他

- ・来場者が頸動脈エコー検査の待ち時間中に気分が悪くなり、近くの医師へ救護依頼をし、緊急対応をして頂いた。今後の対策として、医師会を始め他団体との連携をして救護活動が出来る体制を整えていきたい。

8. 支出

消耗品費	消耗品費	販促品（ポケットティッシュ）	¥4,152
旅費交通費	日当	運営会議、前日設営、当日運営、駐車	¥54,000

	交通費	場代	¥6,800
	食卓費		¥13,000
通信運搬費	配送料	日臨技より貸出機器 着払い・返送料	¥9,020
合計			¥86,972

※駐車場代は、当日スタッフのパーキング代はなし。

※イベント当日のスタッフは13名

*以上の内容について、全員賛成で承認された。

【西濃地区】

- ・3/15の岐阜県医学検査学会について準備中である。演題は計16題、現在座長の選出を進めている。
- ・1/30に地区総会開催予定である。

【中濃地区】

- ・2/17に地区総会開催予定である。

【東濃地区】

特になし

【飛騨地区】

- ・中部圏支部医学検査学会開催にあたり、飛騨地区会員より意見書が提出された。
現在輪番制となっている実行委員会について、第70回中部圏域支部医学検査学会事務局を飛騨地区で請け負うことに限界を感じるという内容です。

理由

- 1, 会員数の少なさ（50名）県内の5%程度の会員数
- 2, 会場：飛騨世界文化センターが来春廃館となり地区内での会場が無い
- 3, 経験不足：技師会活動に積極的活動をしているものが少ない

2/10の地区総会での議論後に正式な要望を提出するが、当地区の意見を考慮し輪番制度の見直しをお願いしたい。

この提案に対し、運営はZoomやSNSを活用して行うため、人数や距離を理由として実行委員会を請け負うことが困難とすることには疑問がある、との意見があった。

その他

・特になし

以上

議 長 岡村 明彦 印

議事録署名人 中田 光洋 印

議事録署名人 服部 光彦 印

